

日本地域学会ニューズレター

平成 27 年 no. 1

平成 27 年 3 月 1 日

目 次

I. 会長挨拶	... 2
II. 役員人事等	... 4
III. 第 52 回日本地域学会年次大会(平成 27 年 10 月 10~12 日)のご案内 論文報告の募集、シンポジウムについて	... 7
IV. 総会報告 麗澤大学で開催された日本地域学会総会についての報告	... 8
V. 理事会報告 平成 26 年度第 7-9 回及び平成 27・28 年期新理事会	... 9
VI. 委員会報告	... 11
1. 優秀発表賞選考委員会(受賞者の紹介)	
2. 機関誌編集委員会(第 48 回についての報告)	
VII. 会費納入のお願い 平成 27 年度会費請求額、会費早期納入の特典、Web 会員について	... 12
VIII. 日本経済学会連合の国際会議派遣補助について	... 14
IX. 国際地域学会関連会議のお知らせ	... 14
X. 学会賞候補者推薦の募集	... 15
X I. 会員の移動	... 16
正会員入会申込書	... 19
『地域学研究』バックナンバー申込書	... 20

注意：平成 27 年度会費請求書が同封されています。

I. 会長挨拶

日本地域学会

会長 氷鉋揚四郎

昨年12月に開催されました2015・2016年期中新理事会において新理事の皆さまから引き続き会長職を努めるようご推挙頂きました。誠に光栄の極みではありますが、これをお引受けすると、3期6年間にわたって会長職を努めることとなり、会則改定以降、例の無いこととなり辞退すべきところですが、諸般の事情に鑑み、また諸先輩、同僚からのご示唆もあり、浅学非才を顧みずお引受けすることとなりました。微力ながら、精一杯、本学会の発展に貢献すべく会長職を努めさせて頂く所存です。引き続きどうか宜しくお願い申し上げます。

一昨年まで三年間継続して行って来た50周年記念事業を無事に終了し、新たな飛躍の年とすべく昨年はそのスタートを切ったばかりです。理事会では、この一年間を振り返ってみて本学会の今後のより一層の躍進と持続的な発展のためには、これまでも増して、中堅、若手会員の活躍が必要であり、また期待される場所であるとの認識で一致しています。

私が、本学会幹事に就任し、事務局運営のお手伝いを始めたのは1983年のこととなります。この30年余の間、歴代事務局長が中心となってこれまでの事務局体制を維持してきたことが、本学会の大きな飛躍に繋がっているとの評価を受けています。その反面、その当時と今とでは、会員数の増加、PRSCO（環太平洋地域学研究大会機構）、RSAI（国際地域学会）等での国際学会活動の活発化、『地域学研究』の充実、編集業務の迅速化、情報化のなかでのホームページ、オンライン等による情報発信等により、日常的な事務局業務の負荷にも大きな差が生

じているのも事実です。これまでの事務局体制で培ったノウハウを、本学会を担うべき次世代にうまく受け継ぐとともに、事務局体制を含めて学会運営の在り方を再検討し、改革すべきは思い切って改革することが、今後の課題となっています。

新役員人事の発令に当たり、当然のことながら様々な御異論はあるものと思いますが、中堅・若手会員の一層の活躍の場を設けるとともに、経験豊富なベテラン会員の蓄積したノウハウの活用にも配慮させていただきました。

副会長には、引き続き宮田先生にご就任頂き、萩原清子先生と高橋秀悦先生には新副会長にご就任頂きました。各分野でご活躍され業績のある副会長の先生方には私の会長職としての至らないところを補って頂けるものと確信しています。

これまで、総務担当常任理事が事務局長となり、過渡期は除いて庶務担当常任理事を兼務するのが慣例でありました。本学会の今後の安定的、持続的発展を考えますと、総務担当常任理事と庶務担当常任理事の兼務は当分の間行わず、庶務担当常任理事は国際関係を中心に、関連する学協会との連携

（日本地域学会のPRSCO構成学会、RSAI所属学会としての活動および諸外国の関連学会との交流）を職掌することとしました。これにより、総務担当常任理事・事務局長は、日本地域学会としての国内での活動に関連する会務に専念することとなります。事務局はこれまで通り筑波大学生命環境系氷鉋研究室内におき、新事務局長・総務担当常任理事に、これまで事務局次長を務めて頂いた水野谷剛先生にご就任頂きました。また、これまで事務局長・総務担当常任理事を努めて頂き、現在PRSCO事務局長でもある渋谷博幸先生に、上記の趣旨にそって庶務担当常任理事にご就任頂き、財務担当常任理事には、これまで庶務担当常任理

事であった櫻井一宏先生にご就任頂きました。

加賀屋誠一先生には永年にわたり理事、副会長として本学会の発展にご尽力頂いているところですが、今回の役員改選で理事としては後進に道を譲られ、名誉会員、名誉理事としてご就任頂きました。また、細江守紀先生には任期満了に伴い副会長をご退任されましたが、引き続き理事、編集委員会委員として再任され、また新たに PRSCO 評議員にご就任頂きました。両先生には、今後とも本会の発展にご尽力賜りますようお願い申し上げます。紙数の関係もごさいますので、細部にわたって記載しませんが、各委員会委員長、副委員長、委員、幹事等にご就任頂く会員の皆様には、上記の趣旨をお汲み取りのうえ、それぞれのお立場から本学会の発展にご尽力頂けますようお願い申し上げます。

さて、今年の第 52 回年次大会は、岡山大学で開催されます。大会実行委員長、同副委員長を快くお引き受け頂いた阿部宏史先生、中村良平先生には何かとご不自由、ご迷惑をおかけしておりますが、引き続き大会の成功に向けて当日の受け入れ準備、シンポジウム企画等、宜しくお願い致します。これは、本学会の最も重要な事業の一つであります。会員諸賢におかれましては奮ってご参加下さい。

PRSCO は、正規の大会開催の年に当たり、チリでの開催が予定されております。この大会には、毎回本学会から多くの会員が積極的に論文発表や、座長、討論者として参加し、ご活躍頂いています。既にご案内の通り、日本は、アメリカ西部地区地域学会 (WRSA) と並んで PRSCO 創立学会であり、重要な役割を担っています。その意味で本大会は国際地域学会関連の大会としては最重要視するものです。チリの美しい学園都市、リゾート都市での開催となり

ます今回も是非、奮ってご参加願います。

私が会長職をお引受けしてから心がけて参りましたのは、会員サービスの充実でした。未だ不十分ではありますが、会員の皆様のご理解、ご協力と役員のご尽力により、徐々にその基礎ができ上がりつつあるものと考えます。2013 年後半に企画を開始しました Springer New Monograph Series, NEW FRONTIERS IN REGIONAL SCIENCE: ASIAN PERSPECTIVES は、本学会との協力により、Springer Japan から刊行されるモノグラフシリーズです。シリーズの Editor チームおよび編集委員会には、私が Editor-in-Chief に就任する他、Editor に多和田真先生、萩原清子先生、木南莉莉先生にご就任頂き、編集委員会へは本学会から多くの会員を派遣しています。このシリーズは、英語が国際言語として事実上 default であるなか、言葉の障壁によってこれまで必ずしも国際的に認知されなかった日本、アジアの研究を世界に発信することを主目的にしています。本シリーズでは、最新の研究結果はもちろん過去において『地域学研究』等に掲載された研究成果を中心として単著、共著を問わず、企画され申請されたもの、あるいは Book Editor が企画者となって数名の著者によるオムニバス形式で企画され申請されたものは、いずれも受理され、出版の可否が編集委員会で審議されます。また、本シリーズでの出版を念頭に、今後国際ワークショップやシンポジウムの開催企画を行うことも可能であり、そのような企画の申請を行い、審議の後その企画が受理されることで、当該シンポジウムでの成果の出版にあらかじめ目処を付けてそのシンポジウム等の成果をより充実させることを目指すこともできます。詳細は、本学会ホームページをご覧ください。既に、昨年末の段階で、10 冊余りの企画が承認され、Springer のホームページに予告

が掲載されております。こちらにも企画の参考になさってください。ともすれば、この種の企画の申請は、厳密に原稿が出そろった段階で行うべきものと考えがちですが、本シリーズでは Springer Japan の御理解も得て、企画を行う前のアイデアの段階での申請も受付を行っています。場合によっては、Editor チームや編集委員が適切な助言を行い、協力して企画の熟成度を上げ、最終企画案の提出を行うプロセスにも柔軟に対応しています。会員の皆様には、ご自身の研究グループにもお声をおかけ頂き、是非本シリーズでの刊行をご検討頂き、企画案をご提出ください。かつて会長挨拶で、本学会の特徴として、設立当初から国際性を掲げてきたことを述べさせて頂きました。『地域学研究』の国際化もその一環ですが、本シリーズも同様に位置づけて本学会として強力に推進する所存であります。

さて、ここ数年来続いた、やむを得ない状況下での本学会の財政悪化により、一昨年、会員の皆様には会費値上げという、さらなる大変なご負担をお願いすることとなりました。その後の、本学会の財政を巡る客観情勢は厳しいものがありますが、和歌山大学での年次大会開催以降、歴代の年次大会実行委員長および関係者の皆様にはこのような事情をご斟酌頂き、大変なご努力によって大会開催経費を節約頂き、本来、学会本部から支給されるべき開催費補助金のほとんど、あるいは一部を快く、50周年記念事業寄付金という形で返戻して頂いております。関係者には、改めてこの場をお借りし、厚く御礼申し上げます。既にご案内のとおり『地域科学の50年の歩みと展望』は、50周年記念事業出版として行われたものです。これには、会員諸賢の『地域学研究』を中心とする最近の研究成果ばかりでなく、学会創設以来の50年の活動記録が掲載されており、今後保存し、後輩に受け継

ぐべきアーカイブとして貴重で価値ある書籍となっています。会員の皆様のなかにはこれをご購入頂いてない方がおられます。未だ在庫がございますので、是非ご購入をご検討頂ければ幸いです。

最後になりましたが、引き続き役員一同一丸となって先輩諸氏および会員の皆様のご協力、ご支援、ご理解を得ながら、本学会のさらなる発展に貢献すべく努力する所存であります。

以上、簡単ではございますが、会長再任のご挨拶とさせていただきます。

II. 役員人事等

平成 27・28 年 日本地域学会事務局、各種委員会等の構成及び交代についてお知らせいたします。

1. 日本地域学会事務局

会長

氷鉋揚四郎(筑波大学)

副会長

宮田譲(豊橋技術科学大学大学院)

高橋秀悦(東北学院大学)

萩原清子(佛教大学)

総務担当常任理事(事務局長)

水野谷剛(筑波大学)

財務担当常任理事

櫻井一宏(立正大学)

庶務担当常任理事

渋澤博幸(豊橋技術科学大学)

理事

浅見 泰司(東京大学大学院)

阿部 宏史(岡山大学大学院)

石橋 健一(名古屋産業大学)

岡村 誠(広島大学)

鐘ヶ江 秀彦(立命館大学)

木南 莉莉(新潟大学)

國光 洋二(農業・食品産業技術総合研究機構)

近藤 光男 (徳島大学大学院)
齋藤 参郎 (福岡大学)
佐々木 啓介 (東洋大学)
鈴木 聡士 (北海学園大学)
多和田 眞 (愛知学院大学)
徳永 澄憲 (麗澤大学)
戸田 常一 (広島大学大学院)
中山 恵子 (中京大学)
福井 秀夫 (政策研究大学院大学)
藤岡 明房 (立正大学)
細江 守紀 (熊本学園大学)
松本 昭夫 (中央大学)
三橋 博巳 (日本大学)
三友 仁志 (早稲田大学大学院)
柳原 光芳 (名古屋大学大学院)
吉田 登 (和歌山大学)

監事

藪田雅弘 (中央大学)
梶井昌邦 (福岡大学)

名誉理事

河野博忠 (筑波大学名誉教授)
酒井泰弘 (筑波大学名誉教授、滋賀大学名誉教授)
臼井功 (横浜国立大学名誉教授)
原 勲 (北星学園大学名誉教授)
加賀屋誠一 (北海道大学名誉教授、室蘭工業大学副学長)

第 52 回年次大会準備委員会及び実行委員会

委員長: 阿部宏史 (前出)
副委員長: 中村良平 (岡山大学大学院)

学術委員会

委員長: 藪田雅弘(前出)
副委員長: 水野谷剛(前出)
副委員長: 鐘ヶ江秀彦(前出)

広報委員会

委員長: 水野谷剛(前出)
副委員長: 石橋健一 (前出)

副委員長:古澤慎一 (新潟大学)
名誉会員推薦委員会
委員長:臼井功(前出)
副委員長: 水野谷剛(前出)
機関誌編集委員会
委員長: 多和田眞(前出)
副委員長: 松本昭夫(前出)
浅見泰司(東京大学)
木南章(東京大学)

Managing Editor: 水鉋揚四郎(前出)

学会賞選考委員会

委員長: 酒井泰弘(前出)
副委員長:水野谷剛 (前出)

学会幹事(会則第 18 条第 6 項)

(1) 事務局幹事

総務・財務・庶務担当常任理事付
小林慎太郎(国際農林水産業研究センター)
内田晋(茨城大学)
古澤慎一(前出)

(2) 委員会幹事

学術委員会

内田晋 (前出)
名誉会員推薦委員会
古澤慎一(前出)
機関誌編集委員会
内田 晋(前出)
古澤慎一(前出)
学会賞選考委員会
内田晋 (前出)
古澤慎一(前出)

事務局 事務秘書

秋山春世 (筑波大学生命環境系水鉋研究室)

事務局所在地 筑波大学 生命環境系 水鉋研究室内 〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1 tel/fax +81-29-853-7221 sec@jsrsai.jp

2. 第 52 回 (2015 年) 年次大会 準備委員会及び実行委員会

委員長: 阿部宏史 (前出)
副委員長: 中村良平 (前出)
委員: 近藤光男 (前出)
委員: 氏原岳人 (岡山大学大学院)
委員: 福島明子 (四国大学)

3. 学術委員会

委員長: 藪田雅弘 (前出)
副委員長: 水野谷剛(前出)
副委員長: 鐘ヶ江秀彦 (前出)
委員

櫻井一宏 (前出)
洪澤博幸 (前出)
鈴木聡士 (前出)
多和田眞 (前出)

幹事:

内田晋 (前出)

4. 広報委員会

委員長: 水野谷剛(前出)
副委員長: 石橋健一 (前出)
副委員長: 古澤慎一 (前出)
委員

梶井昌邦 (前出)
櫻井一宏 (前出)
洪澤博幸 (前出)
松本昭夫 (前出)
三友仁志 (前出)

5. 名誉会員推薦委員会

委員長: 臼井功(前出)
副委員長: 水野谷剛(前出)
委員

櫻井一宏 (前出)
洪澤博幸 (前出)
氷鮑揚四郎 (前出)

幹事:

古澤慎一(前出)

6. 機関誌編集委員会

委員長: 多和田眞(前出)
副委員長: 松本昭夫(前出)
浅見泰司(東京大学)
木南章(東京大学)

Managing Editor: 氷鮑揚四郎(前出)
委員

木南莉莉 (前出)

酒井泰弘 (前出)

櫻井一宏 (前出)

洪澤博幸 (前出)

高橋秀悦 (前出)

徳永澄憲 (前出)

戸田常一 (前出)

吉田登 (前出)

藤岡明房 (前出)

細江守紀 (前出)

水野谷剛 (前出)

三友仁志 (前出)

阿部宏史 (前出) (規程第 3 条第 6 号)

小野宏哉 (麗澤大学) (規程第 3 条第 6 号)

近藤光男 (前出) (規程第 3 条第 6 号)

顧問:

Peter Batey (University of Liverpool)

Tüzün Baycan (Istanbul Tech. Univ.)

Kingsley Haynes (George Mason Univ.)

Geoffrey Hewings (University of Illinois)

Lars Lundqvist (Royal Inst. of Tech.)

Gordon Mulligan (Univ. of Arizona)

Peter Nijkamp

(VU University Amsterdam)

David Plane (University of Arizona)

Jacques Poot (University of Waikato)

Michael Sonis (Bar-Ilan University)

Roger Stough

(George Mason University)

幹事:

内田晋 (前出)

古澤慎一 (前出)

7. 学会賞選考委員会

委員長: 酒井泰弘(前出) (第6号)

副委員長: 水野谷剛 (前出) (第3号)

委員:

岡村誠 (前出) (第4号)

加賀屋誠一 (前出) (第5号)

河野博忠 (前出) (第6号)

櫻井一宏 (前出) (第3号)

渋澤博幸 (前出) (第3号)

高橋秀悦 (前出) (第2号)

多和田眞 (前出) (第4号)

萩原清子 (前出) (第4号)

原 勲 (前出) (第5号)

氷鉋揚四郎 (前出) (第1号)

三友仁志 (前出) (第4号)

藪田雅弘 (前出) (第5号)

幹事:

内田晋 (前出)

古澤慎一(前出)

8. Council of RSAI and Council of PRSCO

(国際地域学会及び環太平洋地域学大会機構 評議会)

RSAI Council

Councilor 宮田讓 (前出) (PRSCO 選出)

PRSCO Council

Councilor & Executive Secretary

渋澤博幸 (前出)

Councilor

徳永澄憲 (前出)

細江守紀 (前出)

宮田讓 (前出)

9. 日本経済学会連合

評議員 (日本地域学会選出)

鐘ヶ江秀彦 (前出)

渋澤博幸 (前出)

「日本経済学会連合 英文年報」への日本地域学会分の担当係

編集委員: 佐々木啓介 (前出)

執筆担当: 渋澤博幸 (前出)

10. 地理学会連合

担当:

櫻井一宏 (前出)

藪田雅弘 (前出)

Ⅲ. 第52回日本地域学会年次大会
(平成27年10月10~12日)のご案内

平成27年度(2015年)日本地域学会第52回年次大会は、岡山大学において下記の通り開催されます。会員諸賢におかれましては、論文報告、特別セッションの編成等、奮ってご参加下さい。

記

開催日: 平成27年10月10日(土)~12日(月)

開催校: 岡山大学

会場: 岡山大学津島キャンパス・一般教育棟 〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1

大会準備委員会: 委員長 阿部宏史 (岡山大学教授)

セッション:

共通論題

a) 地域経済・地域雇用

b) 産業集積・情報

c) 環境評価・環境政策

d) 地域環境・地球環境

e) 国際経済政策

f) 交通・コミュニケーション

g) 経済分析・モデル分析

h) 意識分析・行動分析

i) 地方分権・地方財政・道州制

j) 持続可能都市・地域システム

k) 都市再生・地域再生

l) 沿岸域管理・海洋政策

m) ツーリズム

n) アジア経済

一般論題

立地，人口移動，地域経済等の地域学一般の課題すべて

公開シンポジウム:

テーマ 地方創生と地方中核都市のまちづくり（仮題）

以上

論文報告・特別セッション編成の募集

論文報告と特別セッションの編成を希望される方は，下記の事項を明記し，日本地域学会事務局へ e-mail で応募して下さい。応募締切は平成 27 年 5 月 29 日(金)です。なお申込書は学会のホームページからダウンロードできます。

[論文報告] 応募の必要事項

1. 論文タイトル
2. 上記が和文の場合には，同英文訳
3. 著者名，所属（複数の場合には発表者を明記）
4. 同上英文表記
5. Abstract 和文(700 字以内)および英文(200words 以内)の双方を提出
6. 対応責任者氏名，連絡先住所，tel，fax，e-mail アドレス等
7. 希望討論者 2 名（会員に限る。必ずしも希望通りとならないことをあらかじめご承知おき下さい）

[特別セッション編成] 応募の必要事項

1. セッションタイトルおよびセッションの意図，内容等の概要(和文 300 字以内，英文 100words 以内)
2. 座長（1-2 名の会員）氏名，所属，同英文表記
3. 1 セッション当たり 3-4 編の報告を目途に，各論文についての上記論文報告希望に準ずるデータ。但し，討論者は各々の論文について 1 名でも可。

4. 応募責任者氏名，連絡先住所，tel，fax，e-mail アドレス等

論文報告等に関する問い合わせおよび応募は，次の日本地域学会事務局宛にお願いします。

筑波大学生命環境系

氷鮑（ひがの）研究室内

日本地域学会事務局

〒305-8572 つくば市天王台 1-1-1

tel，fax: 029-853-7221

メールによる応募: app@jsrsai.jp

メールによる問合せ: sec@jsrsai.jp

応募申込書の入手:

http://www.jsrsai.jp/index_jap.html

年次大会の参加申込み

大会および懇親会の参加申込み方法は，次号のニューズレターおよび学会 HP にて公表する予定です。

学会 HP:

http://www.jsrsai.jp/index_jap.html

IV. 総会報告

平成 26 年度総会が，去る平成 26 年 10 月 4 日 13 時 30 分より第 51 回（2014 年）年次大会の会場である麗澤大学で開催されました。氷鮑会長（筑波大学教授）挨拶の後，同会長を議長として審議および報告が行われました。つづく学会賞授与式では，酒井泰弘委員長からの経過報告の後，氷鮑会長より受賞者に各賞が授与され，総会は無事閉会しました。当日の次第，審議および報告の内容は以下の通りです。

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議題

1) 新入会員・退会希望者について

この件について渋澤総務担当常任理事より新入正会員 56 名，退会正会員

43名、退会法人会員1団体について報告があり、これを承認。この結果、正会員1,050名、法人会員8団体となった。

2) 平成25年度の事業報告について

この件について櫻井庶務担当常任理事より報告があり、これを承認。

3) 平成25年度の収支決算について

この件について高橋財務担当常任理事より報告があり、2名の監事からの適正処理報告と併せこれを承認。

4) 平成27年度の事業計画について

この件について櫻井庶務担当常任理事より報告があり、これを承認。

5) 平成27年度の収支予算について

この件について高橋財務担当常任理事より報告があり、これを承認。

6) 平成26年度の収支予算(修正案)について

この件について高橋財務担当常任理事より報告があり、これを承認。

7) 平成27・28年期理事候補者について

この件について氷鉦会長より報告があり、これを承認。

8) 第52回(2015年)年次大会の開催地および開催校等について

渋澤総務担当常任理事より岡山大学で開催することが報告され、これを承認。

9) 第53回(2016年)年次大会の開催地および開催校等の取扱いについて

この件について渋澤総務担当常任理事より東日本で候補を選定中であることが報告され、今後の取り扱いについては事務局に一任することを承認。

4. 報告

1) 『地域学研究(44巻)』の編集について

この件について多和田編集委員長よ

り編集経過について報告があった。

2) RSAIの動向

この件について渋澤総務担当常任理事より報告があった。

3) PRSCOの動向

この件について渋澤総務担当常任理事より報告があった。

5. 学会賞授与式

1) 選考経過報告

酒井委員長より学会賞選考委員会における選考経過について説明があった。

2) 第23回 学会賞授与

氷鉦会長より以下の各賞が授与された。

功績賞: なし

論文賞: 三井栄

奨励賞: 保永展利

著作賞: 北詰恵一, 浅見泰司, 萩原清子, 朝日ちさと, 木村富美子, 堀江典子

学位論文賞(博士): なし

(修士): 池川真里亜

平成25年度 最優秀発表賞(第6回): Sutee ANANTSUKSOMSRI

3) 受賞者挨拶

各賞の代表者による受賞挨拶があった。

6. 閉会の辞

V. 理事会報告

平成26年度 日本地域学会 第7回理事会

日時: 平成26年10月3日(金) 11:00-13:00

場所: 麗澤大学 校舎かえで(2F) 第1会議室

出席者: 氷鉦, 細江, 三橋, 宮田, 渋澤, 阿部, 岡村, 鐘ヶ江, 木南(莉), 國光, 近藤, 佐々木, 多和田, 徳永, 藤岡, 柳原の各理事(ただし, 高橋, 加賀屋, 斎藤, 櫻井, 戸田, 長野, 林, 福井, 三友, 宮城の

各理事より委任状付託；以上理事 26 名出席)；オブザーバとして，臼井，河野の各顧問，酒井学会賞選考委員長，木南（章）機関誌編集副委員長，吉田編集委員，小野宏哉第 5 1 回年次大会実行委員長；内田，水野谷の各幹事；秋山事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

渋澤総務担当常任理事より，個人会員(13 名)の入会希望と，個人会員(12 名)の退会希望があった旨報告があり，これを審議した結果，総会に諮ることが諒承された。この結果，正会員 1,051 名，法人会員 8 団体となった。

2. 平成 26 年度第 51 回年次大会の運営

1) プログラムの変更

水野谷幹事及び内田幹事より年次大会のプログラムの変更について説明があり，これを諒承。

2) 総会式次第

氷鮑会長より総会式次第について説明があり，これを諒承。

3) その他

3. 平成 27・28 年期理事候補者名簿

氷鮑会長より平成 27・28 年期理事候補者名簿について説明があり，これを諒承。

4. 年次大会次期開催地・開催校

阿部理事より，次回岡山大学の準備状況について報告があり，これを諒承。

5. 年次大会次々期開催地・開催校

渋澤総務担当常任理事より，新潟大学を候補地とする提案があり，審議の結果，これを諒承。

報告事項

1. 平成 26 年度日本地域学会第 6 回理事会(持ち回り)

氷鮑会長より，持ち回り理事会について報告があった。

2. 『地域学研究』第 44 巻の編集

多和田機関誌編集委員長より，『地域学研

究』第 44 巻の掲載候補論文の選考結果と刊行進捗状況について報告があった。

3. RSAI の動向

氷鮑会長より，RSAI の動向について報告があった。

4. PRSCO の動向

渋澤総務担当理事より，PRSCO の動向について報告があった。

その他

平成 26 年度 日本地域学会第 8 回理事会(持回り)

日 時: 平成 26 年 10 月 16 日(木)17:00

議題

1. 名古屋産業大学環境情報ビジネス学会主催 ESD ユネスコ世界会議併催イベント

ESD 交流セミナー「CO₂ 観測による環境学習」後援名義使用の件

上記後援名義使用を許可する件につき審議に付し，承認が得られた。

平成 26 年 日本地域学会 第 9 回 理事会

日 時: 平成 26 年 12 月 14 日(日) 13:00-14:30

場 所: 学術総合センター 1 階 特別会議室 101-102

出席者: 氷鮑, 細江, 三橋, 宮田, 渋澤, 櫻井, 阿部, 石橋, 鐘ヶ江, 木南(莉), 國光, 近藤, 斎藤, 佐々木, 多和田, 徳永, 戸田, 中山, 藤岡, 松本, 三友, 柳原の各理事(ただし, 高橋, 加賀屋, 長野, 萩原, 林, 福井の各理事より委任状付託; 以上理事 28 名出席); オブザーバとして筒井監事, 臼井, 河野, 原の各顧問, 酒井学会賞選考委員長, 浅見機関誌編集副委員長, 鈴木聡士会員; 内田, 水野谷, 古澤の各幹事; 秋山事務局秘書

議題

1. 平成 26 年度第 7 回理事会新入会員・退会希望者の訂正

渋澤総務担当常任理事より、前回理事会時の退会希望者に関して訂正がある旨報告があり、これを審議した結果、総会に諮ることが諒承された。

2. 新入会員・退会希望者の承認

渋澤総務担当常任理事より、個人会員（3名）の入会希望があった旨報告があり、これを審議した結果、総会に諮る事を諒承された。この結果、正会員 1,054 名、法人会員 8 団体となった。

3. 第 51 回年次大会会計報告

徳永理事より年次大会の会計報告について説明があり、これを諒承。

4. 第 52 回（2015 年）年次大会準備委員会の構成

阿部理事より次回岡山大会の準備状況について報告があり、これを諒承。

5. 学会賞優秀発表賞の件

酒井委員長より年次大会における優秀発表賞および最優秀発表賞の審議状況について報告があり、これを諒承。

6. 日本経済学会連合 事業計画アンケートについて

氷鮑会長より日本経済学会連合の事業計画アンケートに関して説明があり、同連合の評議員である鐘ヶ江理事および渋澤理事を中心に検討することが諒承された。

7. 『地域学研究』セット販売の推進

氷鮑会長より引き続きセット販売の促進を進める旨提案があり、これを諒承。

8. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

氷鮑会長より新入会員勧誘の現状について報告があり、引き続きキャンペーンを進めることが諒承された。

9. その他

- 1) 臼井名誉会員推薦委員長より加賀屋誠一元副会長および井原健雄元副会長の 2 名を名誉会員に推薦したい旨報告があり、次回総会に諮ることが諒承された。

- 2) 氷鮑会長より日本経済学会連合の国際会議派遣募集について報告があり、学会として派遣者の募集を行うことが諒承された。

報告事項

1. 平成 26 年度日本地域学会第 8 回理事会（持ち回り）

氷鮑会長より持ち回りによって実施した第 8 回理事会に関して報告があった。

2. 『地域学研究』第 44 巻および 45 巻の編集

多和田機関誌編集委員長より『地域学研究』44 巻および 45 巻の掲載候補論文の選考と刊行進捗状況について報告があった。

3. 第 53 回（2016 年）年次大会の準備状況について

木南(莉)理事より 2016 年度の大会開催校候補である新潟大学における大会準備状況について報告があった。

4. RSAI の動向

氷鮑会長より RSAI の動向について報告があった。

5. PRSCO の動向

渋澤総務担当常任理事より PRSCO の動向について報告があった。

6. その他

河野顧問より RSAI の The Hirotada Kohno Award が氷鮑会長に授賞された件について報告があった。

VI. 委員会報告

1. 優秀発表賞選考委員会

優秀発表賞選考委員会（委員長 酒井泰弘 滋賀大学名誉教授）では、第 51 回年次大会での発表を対象とした慎重審議により、下記の会員の方々に平成 26 年度日本地域学会学会賞優秀発表賞を授与する事を決定しました。また優秀発表賞選考委員会での審議は継続しており、今後、今回の優秀発表

賞受賞者の中から1名の最優秀発表賞受賞者が決定される予定です。最優秀発表賞の授与式は、本年の年次大会(岡山大学)で執り行われる予定です。

優秀発表賞:

吉田 真悟(東京大学)

主題: 都市農家の長期的土地利用選択に関する研究

李 博(広島大学)

主題: 産業連関からみた産業構造変化と経済成長の関係

Sreeshankari MURALIDHARAN

(University of Tsukuba)

主題: Sustainable E-waste management in India

伊藤 大輔(豊橋技術科学大学)

主題: 都市群間距離を考慮した都市群成長

Thanh Trung HOANG

(University of Tsukuba)

主題: Estimation of Greenhouse Gas Emission and Potential of Reduction in the Municipal Solid Waste Management in Developing Country: Case Study in Hanoi Capital, Vietnam

Qian ZHOU (University of Tsukuba)

主題: Comprehensive Evaluation of Environmental Policies for Greenhouse Gas and Air Pollution Mitigation by Effective Utilization of Energy Resource in China: A Region Study

中村 紘喜(北海学園大学)

主題: CVMとクラスター分析を活用したエゾシカによる損失価値評価

福田 堯秀(豊橋技術科学大学)

主題: インドネシア・マカッサル市における炭素クレジットの環境・経済影響評価

2. 機関誌編集委員会報告

日本地域学会 第48回機関誌編集委員会

日時: 平成26年12月14日(日) 11:00-12:30

場所: 学術総合センター会議室

出席者: 委員: 多和田, 松本, 浅見, 木南(章), 氷鮑, 鐘ヶ江, 木南(莉), 酒井, 櫻井, 実積, 洪澤, 徳永, 藤岡, 細江, 光多, 三友, 近藤, 阿部の各編集委員(ただし加賀屋, 高橋, 戸田の各委員より委任状付託), オブザーバとして臼井, 河野, 中山, 原の各理事, 水野谷, 内田, 古澤の各幹事, 秋山事務局秘書

議題

1) 『地域学研究』第44巻, 第45巻掲載候補論文の選考

レフェリー評価に基づき第44巻の掲載候補論文の選考が行われた。また第51回年次大会の座長評価に基づき、第45巻掲載候補論文としての投稿を勧める対象となる発表を決定した。

2) 同上機関誌印刷方針

第44巻の発行計画について、氷鮑揚四郎編集総務より報告があった。

3) 『地域学研究』掲載論文および年次大会発表論文集のリポジトリ登録について

『地域学研究』に掲載された論文を機関または個人リポジトリに登録する場合の扱いについての方針を決定した。

4) その他

VII. 会費納入のお願い

日本地域学会会員各位

日本地域学会
会長 氷鮑 揚四郎
謹啓 貴会員におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。さて、早速ですが、同封致しました請求書の通り、日本地域学会平成27年度会費をご請求申し上げますので、

納入期限 平成27年3月末日

までに同封の振込用紙にてお支払いいただけます様お願い申し上げます。

なお、預金口座引落としの手続きを平成 27 年 3 月 20 日までに完了された方には、平成 27 年 6 月 29 日に請求内容にしたがって引落としを行いますのでお早めに手続きをおとり下さる様お奨め致します。また、学生会員年会費の適用には学生証（写し）の提出が必要ですので、pdf か封書にて、学会事務局までお送りください。

何かと出費のかさむ折から誠に恐縮ですが、事務処理の円滑化および再度にわたる督促の経費節減、さらに予想されます円安傾向の為替リスク回避のため上記期限までの早期納入にご協力いただけますよう、かさねてお願い申し上げます。

敬具

1. 平成 27 年度日本地域学会会費等（適用期間限定）

平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日-平成 28 年 3 月 31 日）

一般会員年会費 13,000 円

学生会員年会費 8,000 円

但し、これらの会費、購読料が適用されるのは、

a) 納入期限（平成 27 年 3 月末日）までに上記会費を納入された日本地域学会会員の方、

b) 平成 27 年 3 月 20 日までに預金口座引落としの手続きを完了された日本地域学会会員の方、または、

c) 4 月以降に校費（公費）から支出する事を希望し、納入期限（平成 27 年 3 月末日）までにその旨、および支払予定日を事務局に申し出た日本地域学会会員の方、に限りますのでご注意下さい。

2. 会費の期限内納入の特典

外国為替市場の成り行きが不透明な事もあって、上記の金額で期限を遅れて RSAI 会費をご納入いただいても、為替差損を生

じ、これを日本地域学会の一般会計が負担しなければならない危険が見込まれます。

日本地域学会理事会では、この様な事を考慮して、上記納入期限に遅れた場合には、

1) 一般会員年会費として 14,000 円を請求する

2) 学生会員年会費として 9,000 円を請求する

という事を理事会で決定致しております。

この主旨をご理解いただき、会費関連の事務処理の円滑化、経費節減にご協力頂けますよう、事務局からも重ねてお願い申し上げます。

3. Web 会員

本学会機関誌『地域学研究』の電子ジャーナルを、J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）により発行しております。これにより、会員の研究成果が広く世界に向けて情報発信されております。Web 会員に登録されますと、最新の論文が電子ジャーナル（本文 PDF）として閲覧可能となります。Web 会員登録を希望される方は、学会のホームページから、電子ジャーナル『地域学研究』個人購読者認証申込書(Web 個人会員)をダウンロードしていただき、ご記入の上、事務局までお申し込みください。

Web 会員価格（平成 27 年 4 月 1 日ー平成 28 年 3 月 31 日）は以下のようになります。

1) 学会正会員である個人 (Web 個人会員 A) 年会費 2,000 円

2) 学会非会員である個人 (Web 個人会員 B)* 年会費 5,000 円

3) 本学会法人会員である団体もしくは機関 (Web 機関会員 A) 年会費 10,000 円

4) 本学非会法人会員である団体もしくは機関 (Web 機関会員 B)* 年会費 40,000 円

* Web 個人会員 B と Web 機関会員 B は、電子ジャーナル閲覧のみのサービスとなり

ます。

4. RSAI (国際地域学会) への会員登録について

平成 23 年度から RSAI (国際地域学会) への会員登録の方法が変更になっております。従来より日本地域学会の会員は自動的に RSAI (国際地域学会) の会員として登録されておりましたが、会員の増加に伴う国際本部事務局の負担を軽減するため、会員情報を電子メールアドレスで管理する事になりました。したがって今後は、会費を納入する事に加え、電子メールアドレスを日本地域学会事務局に登録することが必要となります。今後も引き続き RSAI (国際地域学会) の会員となることを希望される会員で、電子メールアドレスを日本地域学会事務局に登録されていない方は、会費の納入に合わせて電子メールアドレスを事務局にお知らせください。また RSAI への電子メールアドレスの通知に同意されない方は、日本地域学会事務局にその旨、お知らせください。

VIII. 日本経済学会連合の国際会議派遣補助について

日本経済学会連合では、加盟学会の会員に対して、国際会議参加費用の補助を行っています。平成 27 年度分の募集が公表されており、申請締め切りは 2 月末及び 6 月 20 日の 2 回 となっております。平成 27 年度に地域学会関連の国際会議で発表あるいは討論などをされる予定で、参加費用の補助を希望される方は、地域学会事務局にご相談下さい。

詳しい情報は日本経済学会連合の下記ウェブサイトでご確認下さい。

<http://www.gakkairengo.jp/>

IX. 国際地域学会関連会議のお知らせ

第 24 回 Pacific Conference of the RSAI のお知らせ

第 24 回 Pacific Conference of the RSAI (Regional Science Association International) が、チリのビニャ・デル・マールで開催されます。PRSCO (Pacific Regional Science Conference Organization) は、日本地域学会がメインとする国際会議であります。最新の研究成果を発表する場として、広く海外研究者との交流の場としてご活用いただけます。会員諸賢におかれましては奮ってご参加ください。

記

会議名 : 24th Pacific Conference of the RSAI

開催日 : 2015 年 8 月 5 日(水) - 8 日(土)

開催地 : Vina del Mar, Chile

アブストラクト提出締切日や大会 HP については、後日学会ホームページまたは PRSCO ホームページ(www.prsco.info)にて案内いたします。

PRSCO Award のお知らせ

環太平洋地域学会大会機構(PRSCO)では、地域科学者の優れた業績をたたえるため、PRSCO Award を創設しました。PRSCO の若手地域科学者を対象とした PRSCO Award for Best Paper by a Young Regional Scientist と PRSCO の発展に著しく貢献した地域科学者を対象とした Higano Award for Outstanding Serve to PRSCO があります。PRSCO Award for Best Paper by a Young Regional Scientist の応募締め切りは平成 27 年 3 月 20 日 となっております。詳細については、PRSCO

ホームページ(www.prsco.info)をご覧ください。

X. 学会賞候補者推薦の募集

日本地域学会では、地域科学 (Regional Science) の発展に貢献する優れた会員の業績をたたえる為、日本地域学会学会賞を毎年授与しています。今年度も第 23 回日本地域学会学会賞授賞選考候補者の推薦の募集を行いますので、どうか奮ってご応募下さい。学会賞は以下の各賞からなります。

功績賞：地域科学の進歩および学会の運営に顕著な貢献をなした会員を表彰する。

論文賞：すぐれた研究論文によって地域科学の発展に著しく寄与し、研究業績の意義や貢献が多岐である会員を表彰する。

奨励賞：若手研究者ですぐれた研究論文を発表した会員を表彰する。

著作賞：地域科学の発展に著しく寄与し、その意義や貢献が多岐である著作物を表彰する。

学位論文賞：本学会会員である博士または修士課程修了者がその修了要件として提出したすぐれた学位論文を表彰する。

優秀発表賞：年次大会においてすぐれた論文発表を行った会員に優秀発表賞を授与する。このうち最も優秀な論文発表を行った会員に最優秀発表賞を授与する。

功績賞・論文賞・奨励賞・最優秀発表賞受賞者には賞状とメダルが、著作賞・学位論文賞・優秀発表賞受賞者には賞状が授与されます。

第 24 回日本地域学会学会賞 授賞選考候補者推薦応募要領

◇応募期限：

1) 功績賞・論文賞・奨励賞・著作賞・学位論文賞

平成 27 年 4 月 10 日 (金) (事務局必着)

2) 優秀発表賞

平成 27 年 5 月 29 日 (金) (年次大会発表申し込みと同時、事務局必着)

◇応募方法：功績賞への応募は他薦のみ、優秀発表賞への応募は自薦のみですが、その他への応募は自薦、他薦を問いません。専用の応募用紙を事務局に提出して下さい。

◇推薦資格：推薦者は、日本地域学会会員であることが必要です。

◇受賞資格等：

1) 論文賞および奨励賞の表彰対象となる研究業績は、過去 2 年間 (暦年) に発表したもので、その主たるものが本学会関連誌『地域学研究 (Studies in Regional Science)』および Papers in Regional Science of the RSAI に掲載されている論文であることが条件です。

2) 奨励賞の応募については、年齢がその表彰対象となるべき主たる研究業績の発表当時 35 才未満であった事が必要です。

3) 著作賞の表彰対象となる著作物については、過去 2 年以内に出版もしくは公表された研究図書であることが条件です。

4) 学位論文賞については、表彰の時点において修了後 3 年以内のもので、当該学位論文に関連した学術論文を本学会の学術セッションで発表しているか、または本学会機関誌『地域学研究』あるいはこれに準ずる専門誌に掲載または掲載可として受理されていることが条件となります。なお、年齢による制限はありません。

5) 優秀発表賞については、以下のいずれかである必要があります。①授賞対象となる論文発表の年度末において 30 歳以下である会員、②授賞対象となる論文発表時において大学院に在籍する会員、③年次大会の

Early-bird Session (アーリー・バードセッション) で発表する会員であり、理事会がその表彰を適当と認めた会員。更にいずれの場合も、対象となる論文の第一著者であり、かつ年次大会当日に口頭発表を行う本人である必要があります。

◇選考方法: 「日本地域学会学会賞 (奨励賞・論文賞・功績賞) に関する規程」, 「日本地域学会著作賞に関する規程」, 「日本地域学会学会賞学位論文賞規程」, 「日本地域学会学会賞優秀発表賞規程」に基づく選考委員会の審議による。決定次第, 受賞者には連絡します。

◇授賞式: 第 52 回年次大会における総会 (平成 27 年 10 月 岡山大学) にて執り行います。最優秀発表賞については, 翌年の年次大会で執り行います。

◇応募用紙の請求: 日本地域学会事務局まで賞の種別を明記してご請求下さい。優秀発表賞については, 年次大会発表申込用紙中に応募欄があります。

X I . 会員の移動

新入会員

正会員 55 名

RAUHGRATAHAAMPORH I-soon(立命館大学 政策科学 大学院生)

Al-Kindi, Khadija, Tahir(筑波大学大学院生命環境科学研究科大学院生)

石田 直也(豊橋技術科学大学建築都市システム学専攻大学院生)

伊藤 大輔(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系大学生 (学部))

打田 委千弘(愛知大学経済学部教授)

王 鉄錚(中央大学大学院博士後期課程)

大川 信行(公益財団法人都市化研究公室 理事)

大谷 智一(九州大学大学院 大学院生(博士課程))

小田 幸(新潟大学 研究生)

河津 義宏(岡山大学 大学院環境生命科学 研究科 博士前期課程)

木根田 好(豊橋技術科学大学建築・都市システム学系大学生 (学部))

木南 漢(日本大学経済学部 学部生)

桑原 洋一(千葉商科大学政策研究科博士課程)

呉 文超(筑波大学生命環境科学研究科大学院生)

高 林(筑波大学生命環境科学研究科大学院生)

後藤 和雄(鳥取大学教育センター准教授)

酒井 宏平(立命館大学政策科学研究科博士課程)

柴山 政明(愛知県あいち産業科学技術総合センター企画室長)

舒 星(早稲田大学 国際情報通信研究科 研究助手)

白井 伸和(埼玉大学 大学院経済科学研究科 学生)

田代 藍(東京大学大学院新領域創成科学研究科国際協力学専攻大学院 修士課程)

Dalxhjav Odgerel(筑波大学大学院生命環境科学研究科大学院生)

丁 洁璐(筑波大学生 命環境科学研究科 博士前期課程)

張 江瑶(筑波大学生命環境科学研究科大学院生)

陳 亜茹(新潟大学 自然科学研究科 大学院生)

辻林 英高(九州大学農学研究院 後期博士課程大学院生 博士後期課程)

椿 美智子(電気通信大学大学院情報理工学研究科総合情報学専攻教授)

中尾 将人(中央大学大学院経済学研究科大学院生 博士後期課程)

長野 晋平((株) TS ビジジュアルリサーチ IT 担当部長)

中村 紘喜(北海学園大学大学院工学研究科修士課程)

西村 一彦(日本福祉大学経済学部教授)
丹羽 真(株式会社センク 21 地域振興部
部長)
林 隆紀(佛教大学社会学部准教授)
林 浩志((一財) 漁港漁場漁村総合研究所
第一調査研究部次長)
福田 克秀(豊橋技術科学大学建築・都市シ
ステム学系博士前期課程)
藤井 友章(豊橋技術科学大学建築・都市シ
ステム学系博士前期課程)
藤木 秀明(東洋大学 PPP 研究センターリ
サーチパートナー)
Hoang, Trung Thanh(筑波大学大学院生命
環境科学研究科大学院生)
馬 溪遥(筑波大学生命環境科学研究科大
学院生)
Mai, Nguyen Thi Ngoc (筑波大学生命環境
科学研究科大学院生)
猿爪 雅治(愛知大学大学院大学院博士後
期課程大学院生)
松下 奈美子(名古屋産業大学環境情報ビ
ジネス学部助教)
水野 健太郎(豊橋技術科学大学建築都市
システム学専攻大学院生)
宮川 幸三(慶應義塾大学 産業研究所 准
教授)
宮田 裕規(豊橋技術科学大学建築・都市シ
ステム学系大学生 (学部))
村野 清文(麗澤大学 経済学部 特任教授)
Muralidharan, Sree Shankari(筑波大学大
学院生命環境科学研究科大学院生)
山内 繁樹((株) エコニクス環境事業部主
幹研究員)
沃 宏杰(筑波大学大学院生命環境科学研
究科大学院生)
吉田 真悟(東京大学大学院農学生命科学
研究科 農業・資源経済学専攻大学院生(修
士課程))
Rajeev Kumar Singh(筑波大学大学院生命
環境科学研究科博士前期課程)

李 妍蓉(京都大学大学院 大学院生(博士課
程))
Lu Chanjun(筑波大学学部生)
Rodolfo Delgado(関東学院大学経済学部非
常勤講師)
渡邊 淳司(岡山大学大学院社会文化科学研
究科博士課程)
退会会員
正会員 40 名
荒川 潔
石川 修一
伊東 洋三
井上 繁
Indrawan Permana
内田 元太
王 文明
大石 泰彦
川人 和美
河本 光弘
木村 吉男
後藤 和雄
蔡 傑
齋藤 雄志
作山 巧
笹津 浩司
佐橋 義直
Shamsunnahar Khanam
鄒 愉
相馬 寿成
孫 林
富山 慶典
那須 貴文
仁平 耕一
HaThi Thu Trang
橋本 康男
肥田野 登
Budjav Khishigjargal
増田 清敬
溝口 晃洋

三野 耕治

矢吹 雄平

山田 康治

湯沢 昭

Khaled, A.R. Jomaa

李 松花

李 念

和合 肇

渡邊 茂了

綿貫 伸一郎

法人会員 1 団体

一般財団法人 運輸調査局

会員数

個人会員 1,054 名

法人会員 8 団体

『地域学研究』バックナンバー/ 定期購読申込書

宛先: 筑波大学生命環境系氷鉋研究室内
〒 305-8572 つくば市天王台 1-1-1
tel +81-298-53-7221 (fax)

日本地域学会事務局 御中

- 日本地域学会機関誌の定期購読を申込ます (16,000 円/ 年)。(PRINT ISSN: 0287-6256)
 下記のとおり, 日本地域学会機関誌のバックナンバーを申込ます。

平成 年 月 日 氏名: 印
 所属:
 住所:
 電話, fax:

記念事業セット販売					※
フルセット:『地域学会年報(1-6号)』+『地域学研究(第1-40巻)』				450,000円	
セミセット:『地域学研究(第1-40巻)』				400,000円	
				小計	円
『地域学会年報』(第1-6号)					
1号 10,300円		2号 10,300円		3号 10,300円	
4号 10,300円		5号 10,300円		6号 10,300円	
『地域学研究』(第1-19巻)					
第1巻 8,000円		第2巻 8,000円		第3巻 8,000円	
第4巻 8,000円		第5巻 8,000円		第6巻 8,000円	
第7巻 8,000円		第8巻 8,000円		第9巻 8,000円	
第10巻 8,000円		第11巻 10,000円		第12巻 10,000円	
第13巻 8,000円		第14巻 8,000円		第15巻 10,000円	
第16巻 8,000円		第17巻 10,000円		第18巻 10,000円	
第19巻 9,400円					
『地域学研究』(第20-28巻) no.1,no.2					
第20巻no.1 9,000円		第20巻no.2 3,500円		第21巻no.1 10,000円	
第21巻no.2 3,500円		第22巻no.1 10,000円		第22巻no.2 3,500円	
第23巻no.1 10,000円		第23巻no.2 3,500円		第24巻no.1 10,000円	
第24巻no.2 3,500円		第25巻no.1 10,000円		第25巻no.2 3,500円	
第26巻no.1 10,000円		第26巻no.2 3,500円		第27巻no.1 10,000円	
第27巻no.2 3,500円		第28巻no.1 10,000円		第28巻no.2 3,500円	
『地域学研究』(第29巻-)no.1,no.2,no.3					
第29巻no.1 7,000円		第29巻no.2 3,500円		第29巻no.3 7,000円	
第30巻no.1 7,000円		第30巻no.2 3,500円		第30巻no.3 7,000円	
第31巻no.1 7,000円		第31巻no.2 3,500円		第31巻no.3 7,000円	
第32巻no.1 7,000円		第32巻no.2 3,500円		第32巻no.3 7,000円	
第33巻no.1 7,000円		第33巻no.2 3,500円		第33巻no.3 7,000円	
第34巻no.1 7,000円		第34巻no.2 3,500円		第34巻no.3 7,000円	
『地域学研究』(第35巻-)Iボリューム4冊一括販売 16,000円; 8,000円/冊					
第35巻no.1	第35巻no.2	第35巻no.3	第35巻no.4		
第36巻no.1	第36巻no.2	第36巻no.3	第36巻no.4		
第37巻no.1	第37巻no.2	第37巻no.3	第37巻no.4		
第38巻no.1	第38巻no.2	第38巻no.3	第38巻no.4		
第39巻no.1	第39巻no.2	第39巻no.3	第39巻no.4		
第40巻no.1	第40巻no.2	第40巻no.3	第40巻no.4		
第41巻no.1	第41巻no.2	第41巻no.3	第41巻no.4		
第42巻no.1	第42巻no.2	第42巻no.3	第42巻no.4		
第43巻no.1	第43巻no.2	第43巻no.3	第43巻no.4		

購入総額合計 円

※ 申込該当箇所に○をする。□にはチェックする。

機関購入の場合は, 氏名, 所属に見積り, 納品, 請求書宛名機関名等を記入, 責任者押印 以上
 平成 26 年 4 月1 日改定

日本地域学会 正会員 入会申込書

20 年 月 日

日本地域学会
会長 氷鮑 揚四郎 殿

日本地域学会 会則第5条に定める正会員として下記の通り入会を申し込みます。

氏名： 印

記

ふりがな			年 月 日生	歳	※男・女
氏名			同英文 (last name, first name)		
所属先	機関名			同英文	
		(年 月より)			
	所属			同英文	
	職名			同英文	
	所在地	〒		同英文	
		電話： ()		fax: ()	
	e-mail				
自宅	住所	〒 配送希望先 ※勤務先・自宅		同英文	
		電話： ()		fax: ()	
		e-mail			
学歴	年 月入学 年 月※卒業・修了・満期退学				
職歴	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
専門分野	専攻：		学位： (大学)		
	<i>Regional Science Association International (RSAI)</i> の研究領域分類 (複数回答可, 入会案内参照)				
	I. ISSUE ORIENTATION		II. THEORETICAL/METHOD-LOGICAL ORIENTATION		
	III. MODE OF ANALYSIS		IV. REGIONAL FOCUS		
所属他学会					
紹介者 (会員に限る)					印

以上 (※は該当項目に○をする)

事務局記入欄	入会承認	年 月 日 第 回理事会	退会承認	年 月 日 第 回理事会
--------	------	--------------	------	--------------